

『洋学史研究事典』を編集して

青木歳幸(本事典編集委員長)

◆洋学史学会を軸として多様な分野からの執筆者221名が、385項目にわたって、5年間準備してきた『洋学史研究事典』を、お届けいたします。

◆洋学史研究は、内外の史料に恵まれ、大きな蓄積を持ちますが、とくに地域洋学史研究の進展が、内外に十分発信されていないという憾みがありました。そこで現状の打破と、現段階までの研究成果を反映させた新たな研究指針となるような事典の編集を企画しました。

◆本事典では、洋学史研究を研究篇(グローバル)と地域篇(ローカル)にわけて執筆し、地域篇では47都道府県の洋学史研究の現状と成果を一堂にみることが初めてできるようになりました。

◆研究篇では、人・モノ・情報の交流を意識して、オランダ東インド会社、ケンペル、シーボルトなど洋学研究に重要な人物・項目を網羅したほか、従来扱われなかった砂糖、異国からきた召使い、鼈甲、金唐革、輸出漆器なども項目にあげました。通覧することで、さまざまな国際交流があったことがみえてきます。

◆本事典は、現代の洋学史研究者が一堂に会する機会ともなり、洋学史研究の現在を俯瞰できるものとなりました。今後、数十年先まで、2021年段階の洋学史研究の到達点を示す基本書として、洋学史研究の指針として、活用いただきたく思います。

洋学史学会 監修

青木歳幸、海原 亮、沓澤宣賢、佐藤賢一、イサベル・田中・ファンダーレン、松方冬子 編

洋学史研究事典

Encyclopedia for the Study of the History of "Western Learning"

グローバルとローカル、

2つの視点で洋学史研究の未来を拓く

洋学史研究事典

B5判・516頁・上製本・函入り

定価：14,300円

(本体13,000円+税10%)

ISBN978-4-7842-1937-7

《編集委員》

青木歳幸(あおき・としゆき) 長野県生まれ。佐賀大学特命教授。

海原 亮(うみはら・りょう) 大阪府生まれ。住友史料館主席研究員。

沓澤宣賢(くつざわ・のぶかた) 秋田県生まれ。東海大学名誉教授。


佐藤賢一(さとう・けんいち) 宮城県生まれ。電気通信大学大学院教授。

Isabel Tanaka - van Daalen (イサベル・田中・ファンダーレン)
ユトレヒト(Utrecht)、オランダ生まれ。東京大学史料編纂所共同研究員。

松方冬子(まつかた・ふゆこ) 東京都生まれ。東京大学史料編纂所教授。

発行：思文閣出版 〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 / fax.075-531-0009 pub@shibunkaku.co.jp

冊数	冊	洋学史研究事典 定価 14,300円(税10%込) ISBN978-4-7842-1937-7
----	---	---

お名前	tel	
	e-mail	

ご住所	〒
-----	---

送本方法	【代引】(書籍代+消費税+送料800円を現金と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎	本書 HP QR コード
------	---	--------------

2021年
10月刊行



思文閣出版

《本書の特徴》

◎グローバルな時代における洋学史研究の成果を盛り込んだ最新の研究事典。

◎各分野で活躍する研究者200余名による最新の研究成果を集大成。

◎地方史誌類の編纂事業や地域史研究の隆盛を踏まえ、全国各地に蓄積された洋学史の研究成果を収録。

◎研究篇(グローバル)と地域篇(ローカル)、ふたつの視座からの複眼的な編集。

◎各項目は1頁もしくは2頁で構成され、簡潔に研究情報を把握できる。各項目末には参考文献を収録。

◎付録として洋学資料の主要所蔵先を一覧できる「洋学関係資料所在目録」を収録。

◎人名索引には洋学に関係する外国人から地域で活躍した洋学者まで、総勢2,400名超を幅広く採録。

◎歴史研究を志す若い研究者はもとより、洋学史に関心、かかわりのあるすべての方へ、これからの研究の指針となる必備の書。



《目次》

総論 洋学史研究試探

【研究篇】

I 洋学の社会的基盤

イエズス会／天正遣欧使節／慶長遣欧使節／オランダ東インド会社／日本商館／オランダ領東インド政庁／ネーデルラント貿易会社／平戸藩／長崎奉行／オランダ風説書／宗門改役／宗門改、類族改／商館長江戸参府／オランダ通詞／「鎖国」言説／長崎会所／本方貿易、脇荷貿易／禁制品／書物改め／抜荷／長崎開役／改暦／国絵図／長崎警備、蝦夷地警衛／江戸湾防備／蘭癖大名／医療宣教／幕末のコレラ／書物、出版(ヨーロッパ)／書物、出版(中国)／漢学、漢方医学／漂流と漂流記／ヨーロッパ諸国による海図作成と日本における沿岸測量／世界周航航海／新聞／居留地、税関／お雇い外国人／園芸／博覧会／異国からきた召使い

II 支えた人びと

カスバル・シヤムベルゲル／沢野忠庵／ケンベル／ツンベリー／シーボルト／ベリー／ビュルゲル／ティツィング／フィッセル／ヤン・コック＝プロムホフ／ロドリゲス／ドゥッフ／モーニッケ／ボンベ／ボードイン／ドンケル＝クルツイウス／ホフマン／フィッセルィング／オイレンブルク／アレクサンダー＆ハインリッヒ・フォン・シーボルト

III 影響を与えたモノ

衣服／ガラス、ガラス器／陶磁器／西洋から輸入された絵画／視眼鏡と眼鏡絵／ワイン／砂糖／西洋料理、西洋菓子／ジャガイモ、薩摩芋／植物／たばこ／染織品／鼈甲、鮫皮、象牙／絨毯／金唐革／動物／医療道具、医科器械／人体模型／眼鏡、虫眼鏡、顕微鏡、望遠鏡／エレキテル／気象観測機器／天体測量機器／地球儀、天球儀、星図／時計、からくり時計／伊能図／武器／輸出漆器／ヨーロッパに渡った日本の絵画／茶／蠟／人魚／火縄銃／地図／石炭／蒸気船／電信

IV 普及した書物

日葡辞書／ハルマ和解／ガランマチカ／英和対訳袖珍辞書／坤輿万国全図／ニューホフ「東西海陸紀行」／ゼオガラヒー／プリンセン／訂正増訳采覧異言／坤輿図説／海国図志／ケンベル「日本誌」／ティツィングが入手した日本の書物／シーボルト*NIPPON*／鎖国論／ドドネウス「草木誌」／ヨンストン「動物図譜」／クランテントルコ／厚生新編／マガゼイン／マートンカッペイ／西学書／パレとハイステルの外科書／解体新書／ラランデ／イベイ／ヒューゲン／ホブソン

V 研究教育の場

コレジオ、セミナリオ／蘭学塾／藩校／薬品会／菜園／ライデン大学／バイテンゾルフ植物園／天文方／蛮書和解御用／番書調所、開成所／正院翻訳局／長崎遊学／長崎海軍伝習所／ユトレヒト陸軍軍医学校／珍品コレクションから博物館へ／ウィーン万国博覧会／幕末のオランダ留学／幕末の遣外使節団／大学南校、開成学校／帝国大学／ミッションスクール

VI 近世学芸から近代学術へ

外科／解剖／内科／紅毛流外科から阿蘭陀医学へ／小児科／物理学／化学／種痘／養生、公衆衛生／本草学／博物学／植物学／薬学／鉱山学／冶金術、鑄造術／農学／砲術／軍事科学／反射炉／造船／航海術／天文学／治水／測量術(町見術)／和算、数学／西学／文法／言語学／キリシタン版の印刷／活版印刷術と新聞／絵画技法／写真術／ナポレオン伝／地理学／法学／統計学

【研究篇】



《本文見本》

(約40%縮小)

【地域篇】



◆…参照項目により本書内の関連する項目を確認できる

◆…より詳しく学ぶための参考文献を収録

【地域篇】

「地域篇」のねらい

【**北海道**】外国人医師と蝦夷地の洋学／幕府の蝦夷地探検と北方図／五稜郭と箱館港の防備／日露関係と箱館開港／幕末維新期の北海道開発
【**青森**】弘前藩の洋学受容／東奥義塾の英学／東奥義塾所蔵洋学関係資料／南部地域における洋学の受容
【**岩手**】岩手県下の洋学／岩手の産業考古学／高野長英の学問
【**宮城**】仙台藩校の洋学教育／仙台藩領の医学と洋学／堀田正敦の博物学／三陸の洋学
【**秋田**】秋田藩の洋学／秋田蘭画
【**山形**】山形県済生館と洋学の伝統／米沢藩、置賜地域の洋学／庄内藩の洋学
【**福島**】福島県の洋学／亜欧堂田善の洋画
【**茨城**】古河藩の洋学／土浦藩の洋学／長久保赤水と地図／茨城の大槻玄沢門人たち
【**栃木**】壬生藩医齋藤玄昌と種痘／壬生の解剖と解剖図の広がり／戊辰戦争と女性看護人／青木家文書にみる宇都宮藩の種痘
【**群馬**】群馬県下の洋学／和算から洋算へ／富岡製糸場のお雇い外国人
【**埼玉**】蘭方医小室家と如達堂／忍藩洋学館の学問と担い手たち／加須の解剖学
【**千葉**】佐倉の洋学／伊能忠敬の測量術／神田佐野文庫／順天堂門人と近代医学
【**東京**】江戸蘭学の黎明／長崎屋／蘭書の翻訳／桂川家の蘭学／尚歯会の周辺／吉田長淑の門人／宇田川家の洋学／江戸の蘭学塾／お玉ヶ池種痘所とその系譜／多摩の洋学／蘭学から英学へ／外国人の見た江戸、東京／早稲田大学図書館洋学文庫／南葵文庫／牧野標本館／国会図書館の洋学資料／小笠原諸島探検と近代科学／稲葉美濃守正則の西洋への関心
【**神奈川**】横須賀の洋学／横浜開港と洋学／佐久間象山と横浜警衛／江戸近郊の洋学の広がり
【**新潟**】越後の洋学／パーム病院の医療宣教／佐渡の洋学
【**富山**】藩政下の科学技術／石黒家の測量術
【**石川**】金沢に残っている洋学関係の文物／からくり師大野弁吉／加賀藩の洋学
【**福井**】福井県下の洋学／福井藩士の洋学修業／グリフスと福井の洋学
【**山梨**】山梨県下の洋学／石坂宗哲の学問／山梨県志医事衛生資料
【**長野**】佐久間象山の思想／信州11藩の洋学／信州博物学の系譜／仏学者村上英俊／信濃在村蘭学の展開
【**岐阜**】江馬家の洋学／郡上藩医学校／飯沼慾斎の本草学／くすり博物館の洋学資料／飛騨煥章学校の英語教育
【**静岡**】江川坦庵の砲術／沼津兵学校／静岡学問所と名村五八郎／葵文庫(江戸幕府旧蔵書)の洋学資料
【**愛知**】尾張本草学と洋学／三河の洋学／近藤坦平と洋々医館／鬼頭佐太郎の留学／東海地方の英学／岩瀬文庫
【**三重**】三重県下の洋学／大黒屋光太夫と洋学／鎌井松石と四日市の本草学／三重の本草学
【**滋賀**】近江における洋学の展開／國友一貫斎／近江における牛痘種痘
【**京都**】京都蘭学の前提／山本読書室／小石家、新宮家の学問／吉雄元吉の蘭方医療／京都大学の洋学資料／京都の種痘／明治初期京都の英学／明治初期京都の勸業政策
【**大阪**】洋学を支えた人びと／都市堺の文化と宣教師／杏雨書屋の洋学資料／緒方洪庵と大坂の種痘／大坂の天文学／広瀬旭荘と洋学者／大阪医学校／倉密局、大阪開成所
【**兵庫**】兵庫県下の種痘／川本幸民の洋学／神戸市立博物館と洋学資料
【**奈良**】奈良県下の洋学／天理図書館と洋学資料
【**和歌山**】華岡青洲の門人／和歌山の種痘
【**鳥取**】鳥取の西洋医学／鳥取藩の海防政策と洋学／鳥取の初期英学
【**島根**】華岡流医学の普及／松江藩の兵学／石見の洋学
【**岡山**】備前の洋学／中島家と地域医療／美作の洋学／津山洋学資料館の資料／備中の洋学
【**広島**】広島県下の洋学／幕末、明治初期広島島の英語教育／広島藩領の種痘／安芸の洋学／福山藩の洋学
【**山口**】長州藩の洋学／洋式大砲鑄造／徳山、下関の西洋医学者
【**徳島**】阿波の洋学／徳島藩士が見た世界
【**香川**】讃岐出身の奇才平賀源内／讃岐の洋学／久米通賢の洋学／讃岐の英学
【**愛媛**】宇和島藩の洋学／大洲藩における蘭医学の展開／シーボルト最後の門人三瀬瀧淵／楠本いねの写真術
【**高知**】土佐藩旧蔵の洋学資料／徳弘孝蔵の砲術研究
【**福岡**】福岡県下の洋学／蘭学者の対外認識／田中久重と技術
【**佐賀**】佐賀藩の洋学／西洋医学校好生館／武雄の蘭学／佐野常民と産業技術／電信技術と佐賀／佐賀藩の英学
【**長崎**】長崎古写真／本木家の洋学／長崎の洋学／鳴滝塾研究の達成と課題／青木周弼、周蔵の長崎遊学／養生所等遺跡の発見と保存／島原藩の人体解剖／大村藩の洋学／平戸藩の洋学／志筑忠雄と洋学
【**熊本**】熊本の洋学／横井小楠の思想／池部啓太の弾道学
【**大分**】大分県下の洋学／杵築藩佐野家／賀来家洋学資料／中津藩の洋学／三浦梅園、帆足万里
【**宮崎**】宮崎県下の洋学／日向国の種痘史料／高木兼寛と近代医学
【**鹿児島**】島津重豪と蘭学／玉里文庫の洋学書／薩摩の対外交流／薩摩の製鉄技術
【**沖縄**】琉球の対外交流と洋学／琉球における種痘の普及／英語習得と異国通事の設置／フランス人宣教師の琉球滞在と洋学

付録 洋学関係資料所在目録
人名索引